

礼拝プログラム

2019年5月12日

司会: 大野兄 **奏楽:** 大倉姉 **通訳:** 石塚兄

賛美: Hymn

使徒信条: * Apostle's Creed

アナウンスメント: Announcement

牧会祈禱: Pastoral Prayer

感謝献金: Offering

メッセージ: Sermon

「かめの粉は尽きず」

"The Jar of Flour was Never Used Up"

洗礼式: Baptism Ceremony

賛美: Hymn

頌栄: Doxology

祝禱: * Benediction

* 印箇所は起立ですが、起立が困難な方は着席のままです。礼拝メッセージは英語に訳されません。必要な機器を会堂入口にてお求めください。

Please feel free to remain seated or sit down when the congregation is asked to stand. The sermon will be translated from Japanese to English. You can pick up a translator device at the entrance of sanctuary.

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉

グリーター: 本多姉、コート姉

ナーサリー: 石井姉、パーク姉

チルドレンチャーチ: プロクター姉、憩兄

セキュリティ: 大野兄

来週、19日の礼拝

司会: 本多兄 **奏楽:** ヴォウト姉 **通訳:** 石塚姉

メッセージ: 「生きている実感を得るために」

賛美: 善き力に我かこまれ、新聖歌355

アッシャー: スコット姉、ワトソン姉

グリーター: 本多姉、コート姉

ナーサリー: 町田姉、カーター姉

チルドレンチャーチ: 石塚姉、奏姉

セキュリティ: 川久兄

おしらせ

本日の礼拝後の予定
コーヒアワー、役員選挙

■ **Happy Mother's Day!** 皆さんのお母様の上に、また現役の母である方々、教会の母のような存在の方々、お一人お一人の上に天来の祝福が豊かにありますように！

■ 今日には宣教献金の日です。これらは藤間ファミリー、マウントオリーブ・ミニストリー、ノースカウティ教会、サウスベイ教会、ラスベガス教会、ツソン教会、ブレント・キング師、ケブン・ウェスト師のはたらきのために捧げられます。

■ 本日、礼拝後に役員選挙、婦人会選挙がもたれます。教会員の方は投票してください。

■ 玄慈(げんじ)姉、洗礼おめでとございます。これからのクリスチャンライフの上に主の祝福がありますように！役員選挙の開票時間に玄慈姉のお証を聴かせていただきます。

■ 夏期修養会(7月2日(火)-5日(金))の申し込みを受けつけています(締め切りは5月26日)。チェックと共に英子さんにお渡しください。また往復のバス乗車を希望なさる方は八尋ホールのサインアップにご記入ください(残席が残り少なくなっています)。

■ 以下、これからの日程です。

5月19日(日): 教会移転説明会(日英部別々に)

5月26日(日): 総会資料提出締め切り

6月9日(日): 教会総会、教会移転投票(日英合同)

今週の予定

14日(火)	南加牧師会	
15日(水)	水曜集会	7:30pm-
16日(木)	木曜集会	10:30pm-
17日(金)	会報発行日	
18日(土)	母子の会	10:00am-
	羊の会	10:30am-
	ユース	6:30pm-
19日(日)	教会移転説明会	
	日英合同執事会	

来週の手紙

ネブラスカ修道院にいた一人の修道士が晩年に記した手紙。

もし私にもう一度、人生が与えられたなら、今度は、もっと多くの失敗をするように心がけよう。リラックスし肩の力をぬき、今回の旅より無邪気になろう。真剣に受けとめなければならない事柄は多くはない、と私は悟ったのだから。

もっと旅に出て自分が暮らす世界の狭さを知ろう。もっと多くの山に登り、もっと多くの川で泳ぎ、もっと多くの夕陽をながめよう。もっと歩き回り、散策しよう。

現実的な悩みを体験し、想像上の悩みを減らそう。ご存知のように、私は先のことを心配し、過敏な神経を持って毎日生きてきた。実際に何年も先のことを考えて毎日を生きる代わりに、この一瞬一瞬を大切に生きていこう。私はどこへ行くにも体温計、お湯を入れた水筒、うがい薬、レインコート、解熱剤、雨傘を持っていった。もし人生を繰り返さなければならぬなら、今よりも軽装で歩きまわろう。

もし私の人生をもう一度、繰り返せるなら、私はもっとホッケーをしよう。もっと多くの「メーゴーラント」に乗ってみよう。もっと多くのヒナキクを摘みにでかけよう。

目を閉じ、肩から力をぬき、深く息をし「このことはどれくらい大切なことなのか」と自らに問い、しばし神様の大きな御手のはたらきを思いめぐらしてみよう。この修道士は過去を振り返り、これだけのことを悟りました。最善なることはそのような過去を振り返るのではなく、今、そのことに気がつき、その生き方を少しづつあらためることです。

『だから明日のことを思いわずらうな。明日のことは、明日自身が思いわずらうであろう。一日の苦勞は、その日一日だけで十分である』(マタイ6:34)